

# 京都教区時報

Home Page <http://www.kyoto.catholic.jp> 4345

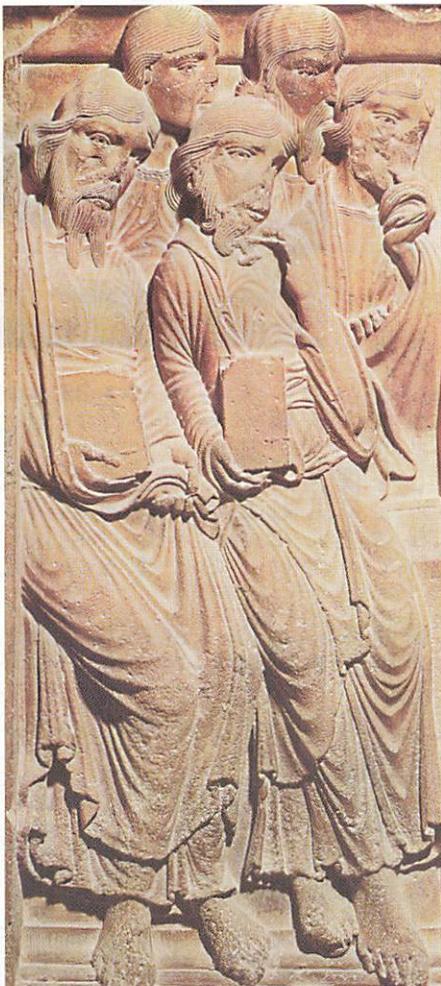
特集 中学生 広島平和巡礼  
高校生 長崎体験学習 感想文

発行 京都司教区  
責任者 村上透磨  
京都市中京区  
河原町通三条上る  
京都教区広報委員会  
TEL 075-211-3468  
FAX 075-211-4345

点訳版「京都教区時報」(無料)  
ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶽崎(たけさき)裕子さんまでお申込みください。  
TEL・FAX 0794-31-8601

あなたの信仰は  
独りよがりではありませんか?

私たちの信仰は、実を結ばない信仰、つまり自分中心の自己満足と独りよがりの慰めを求めるために、神により頼むような信仰になつていないのでしょうか。あるべき信仰生活と、個々人の信仰の表現方法との間には、どうしてもズレが生じます。キリスト教信仰は唯一ですが、その信仰の表現方法は時代や文化によつても、また人間の個性によつても多様になります。



サン・ギレム修道院の使徒の彫像  
(フランス・モンペリエ)

神は教会の中で、人々を立てて、第1に使徒、第2に預言者、第3に教師(Iコリ12・28-31)

しかし、個々の信仰表現は絶対ではないので、常に検証することが必要で、またそのことによって、信仰は浄化され、深められていきます。

信仰の確信は、ときに誤った形をとります。善意からとは言え、ある信心業が迷信に走つたり、狂信にかられたりした事例が教会の歴史には見られます。そのため信仰者は、「教会の教導職」と「信者の総体の信仰のセンス」とに対して自己を開き、これらの見解を受け入れることが必要です。

(2011年司教年頭書簡より)

10  
2011

## 中学生広島平和巡礼 感想文



8月4日(木)から6日(土)にかけて広島平和巡礼に行きました。今回は姉妹教区である濟州教区の中学生の皆さんも参加し、戦争と平和、核(原爆と原発)についてともに考えました。

### 平和のとびらをあける

#### 河原町教会 2年 N・M

今回の巡礼で僕は、平和を世界で守らなければならぬということを学べたと思います。

自分たちの生まれる50年以上前の話だから：と昔話でおわらせる事はできな。8月6日に広島でおこった事、その後長崎でおこった事は今後につなげいかなければならないと思います。

まだおそくはありません。今、世界が立ち上がりつて、世界中で平和を作り上げるべきではないかと思いました。原爆によって何の罪もない人々がようしゃなく熱と放射能で死んでいく…。その悲しさは未来に必ずつなげなければならないと思います。

原爆は嵐や地震とはちがう。原爆は人民の手でなくす事だつてできると聖公会の主教様がおっしゃっていました。去年も広島にきましたが、もうくりかえせない、と思うばかりです。目をつむってしまうようなヒロシマのその後…。



でも、つむつむつてはならない。心を開いて、目を開けて、平和のとびらをあけるべきだと思います。

一瞬で何人の人が死んだか、一瞬でどれだけの人が苦しんだか…。僕は生々しい現実に対し反抗的な態度をとつていました。なぜ僕がそんな事をしらなければならぬんだ？なぜ？昔の話だろ、と2年、3年前は思っていました。

中学1年の時に、関係のない事ではない。昔であろうが自分で関わる事なのだと感じました。そして今日はその事をこれからにつなげなければなりません、と知りました。

僕は悲しくそしてにくく思いました。なぜ同じ人類を殺さなければならないのか。アメリカが日本にした事、日本がアメリカにした事、どちらにしてもなぜ、人を殺さなければならないのか。同じ人類なのに、と思いません。

今僕らは心を開いて、平和というとびらをひらかなければなりません。

**2011 広島平和巡礼**

**九条教会 3年 M・R**  
私が平和巡礼に参加するのは今回で三

回目なので、何が学べるんだろうかと少し不安でした。今回が他の時と違ったのは韓国からも中学生が参加していることでした。そこで初めて、原子爆弾や原子力発電所の事故が他国へも被害をもたらしてしまうんだということを考えることができました。

私はずっと広島に落とされた原子爆弾の犠牲者だとばかり思っていたのですが、先ほど書いた「他国へも被害をもたらす」という広い視野をもって考えてみると、原子爆弾を開発するときに開発実験者の人は放射能をあびているし、開発局の近くに住んでいたり、実験場の風下に住んでいたりする人は、原子爆弾に全く関係ないけど被害を受けるのではないかと思いました。

なぜ国は原子爆弾を持ちたがるのでに戦争が終しようか。初めは戦争で勝つことが目的でどんどん強力な兵器を作り出していった結果、原子爆弾が生み出されたはずでした。しかし、なぜ同じ人類を殺さなければならないのか。始めは戦争で勝つことが目的でどんどん強力な兵器を作り出していった結果、原子爆弾が生み出されたはずでした。

原爆がどう悲惨な結果をもたらすのかを分かつているはずなのに、原子爆弾を捨て



原爆の子の像

ません。資料館で知つたのは、原爆弾を持つていてるだけで他国への威嚇となり戦争が起りにくくなるからでした。しかし私は、もし捨てた時に戦争が起これば、核保有国を相手にしたときに確実に不利になってしまふことは明白だから、原子爆弾を捨てることができないのではないかと考えました。何人かのグループがあつたとしたら、その中の誰かが他の人より優位に立ちたいという気持ちがあるからリーダーのようないい存在が生まれます。そして、その思いを複数の人が持っているとすると対立が起り、お互に相手より優れようと努力します。この規模を大きくしたものは国同士の対立とよく似ていると思いました。

私は今年、吹奏楽のコンクールで「ラッキードラゴン」第五福竜丸の記憶（曲：福島弘和）という曲を演奏しました。曲名から分かるように、この曲は第五福竜丸がアメリカ軍の水素爆弾の実験中に被爆してしまい乗組員の一人が死亡する事件をもとに作曲されました。今までにも原子爆弾をテーマにした詩が

ません。資料館で知つたのは、原爆弾を持つていてるだけで他国への威嚇となり戦争が起りにくくなるからでした。しかし私は、もし捨てた時に戦争が起これば、核保有国を相手にしたときに確実に不利になってしまふことは明白だから、原子爆弾を捨てることができないのではないかと考えました。何人かのグループがあつたとしたら、その中の誰かが他の人より優位に立ちたいという気持ちがあるからリーダーのようないい存在が生まれます。そして、その思いを複数の人が持っているとすると対立が起り、お互に相手より優れようと努力します。この規模を大きくしたものは国同士の対立とよく似ていると思いました。



地球平和監視時計

生み出され、それは未来の人に向けて原子爆弾のおそろしさを伝えようとしてきました。

これらの詩はあまり有名でなく、少し重いものをテーマにしているので、どこか近寄りがたく身近に感じていませんでした。しかし吹奏楽で演奏することで作曲者の意図を読み取ったりしてフレーズを感じたりして曲と接し、それが結果的に核爆弾やそれによって起こされる被害について考えるきっかけになりました。

私は吹奏楽をとおして核爆弾を身近に感じました。それが聴いた人の心に衝撃をあたえられるものであればあるほど、聴いた人はそれを他人に伝えていき、その曲がどんどん広まっていきます。他の分野でも同じようなことが起これば、もつとたくさん的人が核爆弾やその被害について知ることができます。でも、何も悪いことをしていない韓国人が被害にあつたのは申し訳ないし、あと広島の一般の人も被爆したのもかわいそだなと思いましてしょうか。

だから、戦争が終わっている今は、協力して原爆をなくしていけるようにして欲しいと思います。でも、何も悪いことをしていない韓国人が被害にあつたのは申し訳ないし、あと広島の一般の人も被爆したのもかわいそだなと思いまして。また、今は福島第一原発の事故がかなりひどいことになっています。世界で唯一、核の被害を受けた国で、核の恐さを知っているのに、また今、恐ろしい事態が起り、すごく悲しいです。核は原子力発電のようにいいように利用したらとても便利だけど、このような事故が起ること、とても恐ろしいものになります。「絶対安全」と言わなかったから、

## 広島平和巡礼

宮津教会 3年 Y・A

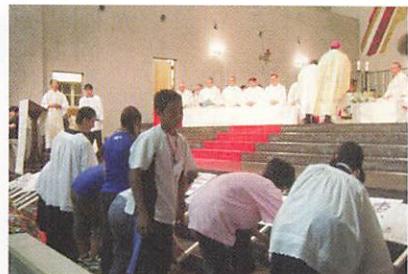
今回は最後の広島巡礼で、また初めて韓國の中学生と一緒にすることで、何か今までとは違うことを学んで来ようと思いまして。広島に向かいました。私は、広島に行く前に日本が戦時中に韓国にひどいことをしていたから、韓國の人は日本に原爆が落とされて罰が当たったというか、自業自得とかいうのを



他の原発も危険だし、もう二度と核によ  
る被害が出て欲しくないの  
で、原発はや  
めるべきだと  
思います。でも、原発がな  
くなると日本  
の電力の原発で発電され  
いた分がまか  
なえなくな  
ってしまうの  
で、「原発を  
なくす」だけ  
では問題の解  
決にはなら  
ないと  
思います。  
今まで原  
子力エネル  
ギーでしてき  
た発電をどう  
やって、他の  
エネルギーに変えていくかが問題だと思  
います。

私は今回の巡礼に参加して、改めて平  
和の大切さが分かりました。唯一、核の恐ろ  
いです。私はこの巡礼で感じたことを忘れず、  
伝えていきたいと思います。

1996年にユネスコの世界遺産として指  
定されるほど、歴史的に重要な意味をもつ保  
存する価値のある建物であります。



幟町教会司教座聖堂（世界平和記念聖堂）にてプラカードの奉納

他の原発も危険だし、もう二度と核によ  
る被害が出て欲しくないの  
で、原発はや  
めるべきだと  
思います。でも、原発がな  
くなると日本  
の電力の原発で発電され  
いた分がまか  
なえなくな  
てしまうの  
で、「原発を  
なくす」だけ  
では問題の解  
決にはなら  
ないと  
思います。  
今まで原  
子力エネル  
ギーでしてき  
た発電をどう  
やって、他の  
エネルギーに変えていくかが問題だと思  
います。

広島平和巡礼に初めて参加することに  
なった時は、大変退屈で疲れるんじやな  
いかと思いました。だけど2泊3日の間、  
日本の友達と一緒に過ごしながら多くの  
ものを学びました。

1日目、紙で折り鶴を折る時は何の為  
なのか知りませんでした。だが、次の日  
それが「原爆の子の像」に掛けた時、そ  
の理由が分かりました。そこには数千個  
の折り鶴がありました。全て平和のため  
多くの方が折ったものだと思うと、人々  
はどれほど平和を願っているかを感じ  
ることが出来ました。少し離れた所にある  
資料館では、オーディオガイドを利  
用して説明を聞きました。

1945年8月6日、8時15分に落と  
された原子爆弾は広島に大きな打撃を与  
えました。その1個の原爆で随分離れた  
所まで全てが破壊されたと聞きました。  
そこで一番大きかった原爆ドームも、  
ほとんど形態を知ることが出来ませんで  
した。その場所で働いていた全ての方々  
が亡くなつたと言わされました。後に市民  
らが原爆ドームをそのままの形に維持し  
ようとして今もその場所には、もとの形  
が分からぬ原爆ドームがよく保存され  
ています。

66年前、原爆が落とされた所の人々は  
ほとんど死にましたが、奇跡的に生き  
残つた人もいるそうです。その人達は未  
だに辛い苦しみを一時も忘れずに生きて  
いると思います。その当時、小学校3年  
生以上の生徒らは親と離れ離れになり、  
故郷を離れ避難を余儀なくされたそう  
です。子供達は生き延びたが親は命を繋  
ぐことが出来なかつたそうです。また、  
薬も無くなりやつと病院に行つても治療  
を受けることが出来なかつたのです。今  
は広島から原爆を保有している国へ絶え  
ず手紙を送つてているそうです。このよう  
に広島では切实に原爆の苦しみを二度と  
繰り返されてはならないと全世界にメッ  
セージを発信して世界平和を願つていま  
す。資料館から電車に乗つて行って証言

## 広島平和巡礼に参加して

濟州教区 2年 J・S



広島平和記念資料館前

者である神父様のお話を聞きました。その一部しか聞けませんでしたが、その66年も経ったにも拘わらずその内容をはっきりと記憶している方で、その方は当時の状況を後世に伝える貴重な語部として、特別な役割を持つ使命を与えられているように思います。私はその方が自身の経験談を話すことは大変辛くて過酷だとと思いました。なぜかと言うとその記憶だけは思い出したくもない忌々しい記憶だからです。



平和を祈る子の像

広島のように世界中のどの国も原爆が落とされることは二度とあってはいけません。

そして、私が心配していた日本の友達との意思疎通は、先生と英語のおかげで何とか解決できました。日本の方々、特に京都教区の司教様に感謝致します。最後に私達が暮らしている世の中は平和が訪れますように!!

高野教会 2年 A・H  
国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館に行つた時、写真を見ているとある方が話しかけてくださった。話を聞いていると、その方は16歳の時に被爆された方だということがわかった。原子爆弾の悲惨さや脅威が切ないほど伝わってきた。しかし、それと同時に復興へと前を向いて進んで力強さや、生命力があつたこともわかつた。人々のそんなところ

平和を求める活気のある長崎をつくっていると思つた。  
登美が丘教会 2年 Y・M  
2日目は各班に分かれて、大浦天主堂、原爆資料館、国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館、浦上天主堂、永井隆記念館・如己堂へ行きました。大浦天主堂

今回たくさんのこと学んで、平和を知るということはとても大切だとわかった。そしてこれからたくさん的人に伝えたいかなればならないと思った。原爆から66年、被爆した人々は減っている中、被爆された人から話を聞けたことはとても貴重な体験だと思った。平和な世界というのは具体的にどのようなものか私はわからぬけれど、世界中の人々が平和を求めて分かち合えば、よりよい世界につながるだろうと思う。

京都教区高校生会は、今まで年3回の合宿を行っていましたが、今年は長崎体験学習を夏に計画しました。8月9日の原爆投下の日の混雑をさけて、2日(火)から4日(木)の体験でした。締めくくりに、日本二十六聖人記念聖堂でミサを捧げ、世界平和を祈願しました。

### 高校生長崎体験学習 感想文



平和祈念像

は初めて実際に見てみて、とてもきれいで大きくて感動しました。特にステンドグラスが美しいのです。お昼は長崎で有名なちゃんぽんを食べました。野菜がたくさん入っていてヘルシーでとてもおいしかったです。次に、原爆資料館では戦争のおそろしさと平和の大切さを感じました。被爆した当時を再現している所を見てみて、とてもおそろしく感じました。そんな中、永井隆博士は医者として多くの被爆者を見護し、そして自ら体験した事をもとに本を出版しました。私は博士のした事はもちろん、彼の己のごとく他人を愛すること、愛があれば平和がおとずれるという考えにとても感動しました。

北白川教会

1年 Y・M

今回、長崎体験学習に参加させていただくこととなつた。修学旅行等を含めると、3回目の長崎訪問となる。最も印象に残つた所は国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館である。如己堂、原爆資料館等には、過去に行つた経験があ

京都教区の高校生長崎体験学習という機会をいただいて、初めて長崎に来ることができました。写真でしか知らなかつた大浦天主堂、浦上天主堂を自分の眼でみることができ、とても嬉しかつたです。初めての長崎は印象に残ることが沢山ありました。原爆による被害、核廃絶を目指すこれから世界については、広島、長

崎で有名なちゃんぽんを食べました。野菜がたくさん入つていてヘルシーでとてもおいしかったです。次に、原爆資料館では戦争のおそろしさと平和の大切さを感じました。被爆した当時を再現している所を見てみて、とてもおそろしく感じました。そんな中、永井隆博士は医者として多くの被爆者を見護し、そして自ら体験した事をもとに本を出版しました。

河原町教会

2年 M・S

京都教区の高校生長崎体験学習という機会をいただいて、初めて長崎に来ることができました。写真でしか知らなかつた大浦天主堂、浦上天主堂を自分の眼でみることができ、とても嬉しかつたです。初めての長崎は印象に残ることが沢山ありました。原爆による被害、核廃絶を目指すこれから世界については、広島、長



平和の母子像

は初めて実際に見てみて、とてもきれいで大きくて感動しました。特にステンドグラスが美しいのです。お昼は長崎で有名なちゃんぽんを食べました。野菜がたくさん入つていてヘルシーでとてもおいしかったです。次に、原爆資料館では戦争のおそろしさと平和の大切さを感じました。被爆した当時を再現している所を見てみて、とてもおそろしく感じました。そんな中、永井隆博士は医者として多くの被爆者を見護し、そして自ら体験した事をもとに本を出版しました。

河原町教会

2年 M・S

京都教区の高校生長崎体験学習という機会をいただいて、初めて長崎に来ることができました。写真でしか知らなかつた大浦天主堂、浦上天主堂を自分の眼でみることができ、とても嬉しかつたです。初めての長崎は印象に残ることが沢山ありました。原爆による被害、核廃絶を目指すこれから世界については、広島、長

るのだが、何を隠そう、原爆資料館の隣に祈念館があることを全く知らなかつた。好奇心とともに、祈念館の中に入つてみると、とても静かな空間であり、心を安らげることができた。そして、暫く歩くと、追悼空間と呼ばれる回廊に出た。幾つかの柱の奥に長崎原爆死没者名簿棚があった。私は、その空間の雰囲気に半ば圧倒されたが、棚に向かって手を合わせて追悼の意を捧げた。この祈りが亡くなつた人の心に少しでも届いていることを祈りながら。前述したとおり、私は今回行つた場所の殆どに訪れたことがある。しかし、資料館などの資料を以前見たことがあるにもかかわらず、まるで初めて見たものであるかのような衝撃を受けた。直視できなかつたものもあつたぐらいだ。改めて、原爆のむごさを思い知らされた。

伊勢教会

3年 S・H

中学、高校の間に同年代の人達と広島、長崎に来ることでできたのは、本当に良い経験となりました。神様に感謝です。

原爆について、国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館、原爆資料館で写真を見たり、お話を聞かせてもらいました。祈念館では、会長さんが体験談を話して下さって、平和というよりは、今と昔の日本について比較してみました。話して下さった深堀さんは、今でも強く生きているんだから、今を平和にすごしている私たちも、もっと強く生きたほうがいいんじゃないかなと思いました。

でも、それよりも、人生で初めて（多分）プロテスタントの教会の中に入りました。カトリックとは違つて、聖人さんたちの姿もイエス様の姿すらなかつたのでボカーンとなりました。



浦上天主堂 遺壁

## 10月のお知らせ

## 教 区

## 聖書委員会

聖書講座「出会いと回心一神に還るー」  
 日 時：5日㊁ 19:30／6日㊂ 10:30  
 テーマ：マルタとマリアとラザロ  
 講 師：鈴木 信一師(聖パウロ修道会)  
 日 時：19日㊁ 19:30／20日㊂ 10:30  
 テーマ：ザカイ、ゼベタイの子、エリコの盲人  
 講 師：奥村 豊師  
 会 場：河原町教会 ヴィリオンホール  
 よく分かる聖書の学び  
 日 時：19日㊁ 10:30  
 講 師：北村 善朗師  
 会 場：河原町教会 ヴィリオンホール  
 参加費：300円  
 聖書委員会：Tel.075(211)3484 ㊁㊂

## 地区協議会

## 奈良カトリック協議会

聖書講座  
 「キリストの信仰を支える旧約のことば」  
 7日㊁ 19:00 大和郡山／8日㊂ 10:00 奈良  
 テーマ：創世記2～3章  
 講 師：英 隆一朗師(イエズス会)  
 21日 ㊁ 19:00 八木／22日 ㊂ 10:00 奈良  
 テーマ：ホセア書6～11章  
 講 師：一場 修師(マリスト会)

## ブロック・小教区・修道会

## 京都南部地区 洛東ブロック

ウォーカソン 11月3日㊁ 10:00～14:30  
 受 付：8:45～9:30 河原町教会  
 河原町教会から鴨川沿い往復  
 寄付先：東日本大震災の被災地

## 伏見教会

献堂60周年記念 文化講演会  
 日 時：23日 ㊁ 10:30(無料)  
 演 題：伏見とキリスト教(仮題)  
 講 師：三俣 俊二氏(京都聖母女学院短期大学名誉教授)  
**男子カルメル修道会(宇治修道院)**  
 聖書深読默想(九里 彰師)  
 日 時：8日 ㊁ 10:00～16:00  
 参加費：2,700円  
**水曜默想(松田 浩一師)**  
 日 時：12日 ㊁ 10:00～16:00  
 テーマ：ロザリオの祈り／参加費：2,700円  
**イエスの聖テレジアについての**  
 小講話と祭日ミサ  
 15日 ㊁／司式：松田 浩一師  
 10:00 小講話「テレジア的カルメルの最初の  
 修道院創立とその使命」  
 11:00 「アヴィラの聖テレジアの祭日ミサ」  
**社会人(働いている人)のための靈的同伴**  
 日 時：28日 ㊁ 20:00～29日 ㊂ 15:00  
 参加費：5,500円／(松田 浩一師)

## 聖ドミニコ女子修道会(京都修道院)

## ロザリオと共に祈る会

日 時：21日 ㊁ 10:30～12:00

## みことばを聴こう！

日 時：29日 ㊂ 9:30～15:00

テ マ：信じるということは

指 導：北村 善朗師

対 象：青年男女／会費：500円(昼食代)

締切り：24日 ㊁(事前申込要)

京都市上京区河原町通今出川下る梶井町448

Tel.075(231)2017 Fax.075(222)2573

## 聖マリア在俗会

## 召命の集い

日 時：11月23日 ㊁ 10:00～15:00

テ マ：在俗奉獻という生き方

講 師：フィリップ・マッテュ師(神言修道会)

対 象：女性信徒／会 費：1,000円(当日)

場 所：大阪梅田教会

締切り：11月10日 ㊁

申込み：Tel & Fax.06(4398)2236 高崎 恵子

## 諸 団 体

## 正義と平和京都協議会

## 第2回学習会

日 時：11月5日 ㊁ 14:00～16:00

テ マ：拡がる放射能汚染と核のゴミ

～子どもたちを守るために放射能に立ち向かおう～

講 師：守田 敏也氏(元同志社大学研究センター客員フェロー)

場 所：カトリック会館 6階

問合せ：Tel & Fax.075(223)2291 ④⑤⑥

## 京都カトリック混声合唱団

練 習：9日 ④ 14:00 都の聖母聖堂／22日 ④ 18:15

ミサ奉仕後／30日 ④ 14:00 カトリック会館 6階

## 京都カナの会

例 会：2日 ④ 13:30 カトリック会館 6階

## コーロ・チェレステ(女声コーラス)

練 習：13日 ④／27日 ④ 10:00

カトリック会館 6階

## 聴覚障がい者の会

手話表現の学習会：11日 ④ 13:00

カトリック会館 6階

## 心のともしび 番組案内

テレビ(衛星.CATV)スカイA スポーツプラス

毎週土曜日 朝 8:45(15日と29日は 7:45)

今井美沙子氏(ノンフィクション作家)

シリーズ「ふだん着の信仰」

ラジオ(KBS京都)④～⑤ 朝 5:15

10月のテーマ「美しく生きよう」

## 「一万匹の蠍運動」基金報告

累計 57,256,270円(8月17日現在)

## 教区広報委員会からのお知らせ

※ お知らせに載せたい情報は、原稿締切り日までに教区広報委員会宛にFax.075(211)4345か kouhou@kyoto.catholic.jp に発信者のお名前を明記してお寄せください。

※ 12月号の原稿締切り日は10月26日 ④です。

担当：大森

## 大塚司教の

10月のスケジュール

Schedule of Bishop Otsuka



- 2日(日) 13:00 奈良地区 南部ブロック  
司教訪問(御所)
- 6日(木) 10:00 中央協 常任司教委員会
- 8日(土)-10日(月) 御聖体の宣教クララ修道会  
召命默想会(軽井沢修道院)
- 13日(木) 10:00 司教顧問会
- 14日(金) 11:00 列聖列福特別委員会  
(高槻教会)

## —青少年交流会—

河原町教会 栗山 透

みなさん、青少年交流会を知っていますか？「そんなものやっていたっけ？」と思う方もいるかもしれません。実は青少年交流会は今年からの企画なんです。青年センターでは2ヶ月に1回京都教区の京都南部地区、京都北部地区、滋賀地区、奈良地区、三重地区で運営委員会を開催しているのですが、そのとき宿泊している教会の主日のミサの後に、その地区に住んでいる青少年との交流の場を持てるのではないか、ということで始まったのがこの企画です。お祈りをしたり、聖歌を歌ったり、レクリエーションをしたりしながら、

15日(土) 14:00 済州京都交流部 会議

16日(日) 12:00 三重セニョール・デ・ロス  
ミラグロス祭ミサ(鈴鹿)  
(ペルーのマリア様の祭)

17日(月) 16:00 教区付き司祭集会

21日(金) 洛星中学校 高等学校創立60周年  
9:00 記念ミサ 17:00 記念式典

23日(日) 9:30 聖ヴィアトル修道会  
菅原友明修道士 助祭叙階式(北白川)

30日(日) 10:45 京都北部地区大会(日星高校)

1時間強の時間を青少年たちと過ごしています。

対象は中学生から自分が青年だと思っている人まで、申し込みは不要です。青少年交流会が開催される地区の各教会に、前もってポスターが送られますので、ご確認の上参加して下されば幸いです。それではみなさんの参加を心よりお待ちしております。

